



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 80号 令和7年新年号

# 謹賀新年

社会福祉法人 熊本いのちの電話

理事長 福田 稠

明けましておめでとうございます。皆様には2025年の新春いかがお過ごしでしょうかお伺い致します。昨年は正月元旦から能登地方の大地震があり、記録的な猛暑、物価高騰等、波乱の多い一年でした。厚労省の自殺統計では令和4年の自殺者数は21,881名で前年より100名増加しています。

2025年は熊本いのちの電話にとって特別な年です。熊本いのちの電話は1985年に設立され、この4月1日創立40周年を迎えます。40年を振り返りますと、熊本地震や新型コロナウイルス感染症のパンデミック等あり決してなだらかな



な道のりではありませんでしたが、多くの先達の御努力のおかげでめでたく創立40周年を迎える事が出来ました。

現在、相談員127名（相談員91名、研修生36名）でYMCAで養成講座を受けている41期生は33名です。2025年が熊本いのちの電話にとって充実した佳い年になります事を祈念して新年のご挨拶と致します。

## 通信80号 目次

巻頭言	P1	チャリティ公演	P6
熊本いのちの電話Q&A	P2	感謝報告	P7
私たちの想い	P3	お知らせ	巻末
インタビュー企画	P4		



熊本いのちの電話  
ホームページ

相談電話 096・353・4343

# 熊本いのちの電話

## Q & A



**Q** いのちの電話は、どうい  
活動をされていますか？

**A** 24時間365日、お電話で相談  
を受けています。内容は多様です。  
心や身体、人間関係のお悩みを  
抱える方、死んでしまいたいほど  
の苦しい思いを抱えている方な  
ど様々です。相談は匿名でできま  
す。そして相談員は一般の方々が  
無償のボランティアで行ってい  
ます。



**Q** 専門家ではないのですか？



**A** 友のように寄り添うというこ  
とを大切にしています。専門家  
ではありませんが、相談員とし  
て認定されるには2年間の養成  
期間が必要です。

**Q** 電話はどのくらいかかってきますか？

**A** 昨年は年間で1万件以上の相談  
電話を受けました。そのうち自殺  
に関わる特に深刻な相談は約  
15%ありました。相談員が増え  
ればもっと多くのご相談を受け  
ることができます。

**Q** 今何人で活動していますか？

**A** 127名が交代でお電話を受け  
ています。相談員の不足は常に課  
題になっています。相談員を募  
集しているのをご存じない場合  
もあります。テレビCMを行った  
年は応募者が約2倍になりました。  
ただ、テレビCMには多くの費用  
がかかってしまいます。

**Q** 相談員に交通費を出したり  
しているのですか？

**A** 相談員は完全無償で電話相談  
や研修のために通っています。安  
心して活動が出来るよう、事務  
局で駐車場を借りたり、相談に  
必要な環境を整えています。

**Q** 費用がいろいろかかりそう  
ですね？

**A** はい、冷暖房や通信費、研修  
のための会場費用や講師謝礼、  
広報誌の印刷代も運営上必要な  
費用です。また、会館もかなりの  
年月が経っていて雨漏りなどの  
補修費が最近の悩みです。

**Q** 大変ですね。資金は  
どうしていますか？

**A** 活動に賛同して下さる企業  
や個人の方々のご寄附や助成金  
が大きな支えになっています。  
またバザー、チャリティ公演、  
寄附付き自販機によるご支援、  
イオンの黄色いレシートキャン  
ペーン、相談員のみんなで節電  
など様々な工夫に取り組んで  
います。

**Q** 少しでも助けになりたい  
のですが、寄附するには  
どうすればいいのですか？

**A** ありがとうございます。ご寄  
附の方法は主に2つです。1つは  
専用の振込用紙からのご寄附  
です。2つ目は、令和2年から  
始まった熊本県の「ふるさと  
くまもと応援寄附金」制度を  
使って、寄附先に「熊本いの  
ちの電話」を指定して頂く方  
法です。



**Q** 寄附先を指定できる  
のですか？

**A** 寄附金の2分の1が私  
たちの団体に交付される仕組  
みです。詳しくは「ふるさとく  
まもと応援寄附金」と検索して  
いただくか（※下記QRコード）、  
熊本いのちの電話のホームページ  
に情報を掲載しています。ぜひ  
熊本いのちの電話へのご支援  
をよろしくお願いします。



ふるさとくまもと応援寄附金

# 私たちの 想い

## 40年間電話を受け続けた 相談員の想い

相談員振り返れば40年。長いか短いか?どちらでしょう。電話機の前で掛け手からの電話を待ちそれを受ける。至らない対応を繰り返しながらその度に反省を重ねてきました。次こそは少しはましな対応を、の思いで受け続けてきた結果が“今”です。多くの掛け手と関わらせて頂きました。心情が掴めずに怒鳴られたこともあり、性の電話が怖くて逃げだしたくなったことも1度や2度ではありません。私の知らない人生を生きている方々の声を聴かせていただく中で、私の人生の間口がかなり広がりました。豊かな時間をありがとう、の思いです。(Y.Fさん)



## 30数年相談員を見守ってきた 事務局員の想い

「おはようございます」「暑かったですよ」と声を掛け、相談員の皆さんを迎えることから事務局の仕事が始まります。お顔を見て今日の体調は・・気にかけるのも大切です。

私が入局するとき、パソコンも簿記もできない私に「相談員さんが、また相談担当に来ようと思ってくれるようにするのが一番の仕事です。」との理事長の言葉に力を得ました。そして担当が終わって帰られる相談員の皆さんに「ありがとうございました。気をつけて」と、掛け手の方がきっと思っているであろう感謝の想いを込めてお見送りする日々が、30数年の事務局員としての私の喜びでもありました。(S.Iさん)



## 深夜当番に入る相談員の想い



真夜中から朝方まで電話は途切れません。苦悩を抱えて眠れない夜を過ごしている人たちがたくさんいるのです。

真夜中の電話の雰囲気は独特です。人が寝静まった静寂の中で話をしていると「この世でただ二人きりで繋がっている」という感覚を強く感じます。眠れない夜に一緒にいることで「自分は一人じゃない」と感じてほしいと思いながら電話をとっています。(K.Wさん)

## 研修を担当する 研修委員の想い

私たちは二年の養成講座で心理・精神病理・社会福祉などの専門家の講義、実学を経て相談員を目指します。相談員は、時代と共に変わりゆくかけ手のお話によき隣人として寄り添いながら、今の自分の技量に満足することなく、更によりよい応え方を探るために継続研修に励んでいます。研修の講師の方々からすればずっと安く担って下さり、会場費や私たちの施設であっても維持費がかかります。私たちの活動を継続するには私たち自身が弛まぬ研修を続けていかなければなりません。研修においてもご寄附が大きな支えになっています。(M.Sさん)



## 研修生の想い

- ・九州・沖縄地区ワークショップに参加して、先輩相談員の熱意に圧倒された。すごいところだと思った。
- ・先輩相談員や事務局の人が優しく、声掛けやフォローをよくしてもらえる。取り残され感がない。
- ・たまに来てでも大丈夫だと思える安心感がある。

ご存じですか？

# チャイルドライン熊本

昨年5月にチャイルドライン熊本が電話対応をスタートされました。  
吉永千尋代表に設立の経緯や活動についてお伺いしました。

## Q チャイルドライン熊本の活動について教えてください。

チャイルドラインは、子ども自身が持つ力を信じ、電話やチャットでつながった子どもが主体的に考えられるよう気持ちを聴きます。そして一緒に課題と向き合うことで子どもの意見形成に寄与できるように子ども自身のエンパワメントを支えています。

心の叫びになかなか耳を傾けてもらうことのなかった子どもが、チャイルドラインをきっかけとして、聴いてもらうこと、話すことの大切さに気づき、SOSを出すことを知り、次に困難に出会ったとき、誰かに言ってみよう、という気持ちを起こすことを願っています。

## Q チャイルドラインの特徴は全国共通のフリーダイヤル番号のみでの受付ですね。

年間20万件の子どもからの着信を、全国約2,000人の受け手（ボランティア）が交代で受けています。1999年にチャイルドライン支援センターが東京都に発足して25年、全国40の都道府県に活動団体があり、熊本は2024年の5月にスタートしました。私たちは、全国のどの都道府県の子どもたちがかけてきても、チャイルドラインのポリシーと共に、誰が電話をとっても変わらない、「チャイルドライン」の傾聴を目指しています。

## Q 対象が子どもということで特に気を付けていることはありますか

チャイルドラインが子どもにとって安心安全に話せる環境であるよう努めています。

そのために子どもに4つの約束をしています。

1. ヒミツはまもるよ
2. どんなこともいっしょに考える
3. 名まえは言わなくていい
4. 電話やチャットを切りたいときには切っています。

また、ボランティアとして日頃心掛けていることは、電話を取るときだけでなく、自身の生活の中にある子どもたちとの関わりを大切にするということです。私自身もそうですが、日常の中で「傾聴」をしていくことで、日々考え、寄り添い、これで良かったのかと振り返り、変化していく自分自身が、子どもたちに「成長」させられていると感じています。

難しいことは子どもたちの中にはありません。私たち大人の中にあります。私たちが、子どもの声を聴くことができれば、難しいことはないのです。私たち自身も「子どもだった」ことを思い出して、先回りせずにありのまま声を聴けることが大切と思っています。



**熊本は昨年5月にスタートしたばかり、設立の経緯を教えてください。**

私は、心理学部併設の大学で心理学や家族関係論など学びました。その折、町の広報誌で「チャイルドライン受け手募集」という案内を見て、母と一緒に受講し、大学生、社会人の間の5年間ほどチャイルドラインのボランティアをしました。その後、結婚を機に熊本に移り、チャイルドラインとは離れた生活となりました。関わる事ができなかった理由の一つは熊本県にチャイルドラインのボランティア団体がなかったからですが、その時は設立など考えてもいませんでした。ある日、熊本県にチャイルドラインを作りませんかと他の団体の方からお話を頂きました。目から鱗でした。なければ、作ればいい。確かにそうだと感じ響きました。できるかできないかも分からないまま、ただ一人始めることにしました。そこから仲間を10人集め、資金を集め、ボランティア養成講座等を実施して、2024年5月に念願の電話を受ける体制になりました。

私たちは、実際に子どもの話を聴くことができ、子どもの話を聴ける大人が増え、子どもの声を発信し、子どもたちの「人権」を尊重し、「小中高生が生きていこうと思える」社会を作るという理念のもと「チャイルドライン熊本」を設立しました。



**新年を迎え、改めて今後の活動について教えてください。**

今後の活動は、まずはこれまで通り、滞りなく電話相談ができること。だと思っています。

多くのことを望むと難しくなります。現在「チャイルドライン熊本」には、ボランティアが30人ほどいます。電話の受け手だけでなく、広報、事務局、チラシデザインなどみんながいるからできています。これからは、代表の私がいなくても、運営していける組織づくりが必要だと考えています。私が辞めるとかの話ではありません。仕事や役割を属人化せず、仲間の得意分野を伸ばしていけるボランティア組織づくりを目指しています。

そしてまた、子どもたちへの広報活動を本格化させたいと思います。

カードを配るだけでなく、子どもたちがいる場所へ出向いて「チャイルドライン」は、心の居場所であること、4つの約束①ヒミツはまもるよ②どんなこともいっしょに考える③名まえは言わなくていい④電話やチャットを切りたいときには切つていい

いつでもそばにいることをたくさんの熊本の子ども達に伝えていきたいです。

### 後記

子供たちに知って貰うこと。悩みを抱えている子供は勿論、相談を受けるかもしれない子供もチャイルドラインの存在を知っていることがとても大事だと感じました。

## チャイルドライン

### 電話



全国共通フリーダイヤル  
毎日 **0120-99-7777**  
実施時間 16時～21時  
ネットでんわ (アプリ)  
毎週月曜日  
実施時間 16時～21時

### オンラインチャット



第1・3月曜日、  
毎週火曜日～土曜日  
実施時間 16時～21時

# チャリティ公演開催報告



- 2024年12月24日(火)第23回目となる熊本いのちの電話チャリティ公演「冬のきらめきコンサート」を開催しました。
- 年末に向け気温は冷え込んでいましたが、くまもと森都心プラザホールには313名の方がお越し下さり、活気ある楽しいコンサートに場内は熱気に包まれました。

始めにいのちの電話の活動内容や相談員募集の動画をご覧いただき、続いて理事長福田桐よりご来場と開催の御礼が述べられました。

コンサート第一部は<きらめき かがやいて>のテーマで、熊本県吟剣詩舞道総連盟による勇壮な舞いに始まり、フルートアンサンブル‘90&シリンクスによるたおやかで美しい演奏があり、バイオリンとピアノのデュオユニット ORANGE はチェロも加わりオリジナル曲や熱くなる情熱的な曲目など素晴らしい演奏でした。そして終業式後、急いで駆けつけてくれた菊池女子高等学校郷土芸能部の皆さんを交え、花童たち舞踊団メンバーと一緒に、華やかで可愛い舞台を披露してくれました。

第二部は<みんなのクリスマス>をテーマにした出演者全員のコラボで、観客みんなを巻き込んだ盛り上がる舞台でした。フィナーレのクリスマスソングは、クリスマスイブならではの清らかな雰囲気醸し出され、楽しい舞台は幕を閉じました。終演後、花童や菊池女子高のメンバーが募金箱を持ってお見送りの中、ご来場の方々から多くのいのちの電話への応援が寄せられました。



この日のために、練習を重ね、演奏を磨いてきてくださった出演者の皆さま、ありがとうございます。

また、協賛をいただいた熊本ロータリークラブ様、後援のビハール熊本様、プログラム広告や募金活動で応援して下さった皆さまに、心から感謝申し上げます。



## はじめて全国協力して フリーダイヤルの施策を実施

通話料が負担になる方のために、通話料無料のフリーダイヤルを利用して相談を全国でお受けしていますが、毎月10日の24時間と毎日16時から5時間と限られた日時となっています。そこで9月10日の世界自殺予防デーの施策として、厚労省のご支援により10日から1週間168時間フリーダイヤルによる電話相談をはじめて実施しました。その結果多くの方からの電話を受けることができました。毎年3月は自死者が多いことから自殺対策強化月間となっていますが、今回の経験を生かして3月10日8時~17日8時までの一週間、通話料無料のフリーダイヤルを実施する予定です。

## 熊本いのちの電話のその他の活動

9月24日(火)	41期電話相談員後期養成講座開始。受講生33名。
10月 5日(土)~6日(日)	37期38期対象リフレッシュ研修(阿蘇YMCA)。参加者13名。
10月13日(日)	研修委員・研修リーダー合同研修(熊本市市民会館会議室)。参加者14名。
11月 3日(日)	全体研修会(熊本市市民会館大会議室)。参加者95名。
11月11日(月)	黄色いレシートキャンペーン(イオンモール熊本)。参加者5名

# ご支援ありがとうございます

熊本ののちの電話は多くの皆様に支えられています。感謝をもってご報告させていただきます。

## 寄付感謝報告

(2024年7月1日～11月30日までに確認出来た方)

### 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)あつまるホールディングス 島田 源太	熊本電気鉄道(株) 熊本トヨタ自動車(株)及び社員一同	中島 敬高 伊豆信太郎	トリプル・ウィン(有) (株)南栄開発	田中 一美 齊藤 忠	(株)モーターレンプロイデ 齊藤 寛樹
NTT西日本 大村法律事務所 (株)office BIS 熊本学園大学 熊本e-企画社 熊本県儀式共済(株) 熊本県民共済 熊本市キリスト教会連合婦人会 熊本第一信用金庫	熊本日新聞社 医)孔子会 サザンリンク(株) 医)寿量会 すずかけ台保育園 西部電気工業(株) 生命保険協会熊本県協会 (株)鶴屋百貨店 (株)TMビル	福田 稠 三宅 聡 米満弘一郎 平野 正憲 坂口隆富美 福岡 哲生 松尾 俊昭	西田総合保険(有) (株)肥後銀行 (株)ヒライ 佛巖寺 (有)フットフィール 三原労務管理事務所 宮川・遠山法律事務所	西田 和弘 笠原 慶久 平井浩一郎 三原 裕樹 宮川 輝之	森本法律事務所 ゆうかり調剤薬局 有斐総合法律事務所 (一社)夢ネット はちどり YMCAチャリティゴルフ会 匿名 2件

### 個人の部

(敬称略・順不同)

藍澤 春美 赤星 敦 赤星 寛子 浅野 智弘 足立 國功 荒木 伸夫 壱岐 憲司	板井 次男 伊藤勢津子 井上 新 井上 英也 上村みどり 宇敷 辰男 悦 真彰	大井 和美 小笠原嘉祐 岡田 洋一 小田部久美子 小野 友道 小原 聡子 小山 照映	柏尾 敬秀 加藤 敏行 河北 敏夫 神崎 芳郎 岸本 清一 木村美由紀 工藤 典子	郡山 和代 小杉 康之 後藤 秀昭 斉藤 登 坂田 憲二 崎元 達郎 佐藤 泰生	小路 美香 富田 徹仁 中村 直美 成松 真 西尾 京子 羽江 育子 早川 洋一	伴 征子 開 由美子 廣石 妙子 本田 重寿 本田 節子 松尾 修 松藤 英一	溝口ハルエ 宮本 進夫 山内 武 山内 稔 米光 宏	匿名 10件
--	---	--	---	--	--	---	--	--------

※切手、お茶、コーヒー等もありがとうございました。感謝をもって、ご報告させていただきます。

## 募金式自販機寄付

## 募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(敬称略・順不同)

ウェルフェアホームゆたか事業所 A Pパーク桜町 おおつかの郷 大津陣内メディケアセンター 菊陽レディースクリニック 北熊本乗馬クラブ 九州電機工業(株) 九州中央リハビリテーション学院 九州ルーテル学院高等学校 九州ルーテル学院大学 (株)九電工	熊本学園大学 熊本県医師会館 熊本放送(RKK) 熊本保健科学大学 熊本YMCA 桑原クリニック KMバイオロジクス(株) 医)孔子会 孔子の里 金剛(株) (株)佐藤産業 (株)SYSKEN	(医)寿量会 熊本機能病院 (福)愛隣会 春光園 崇城大学慶賓館 大東商事(株) 建吉観光土地(株) (株)建吉組 (医)寺尾会 寺尾病院 (医)聖公会 中村整形外科 (株)南星機械 (株)Denzai (特非)花織部	ハヤカワスポーツ ヒロ・デザイン専門学校 (医)愛育会 福田病院 不二高圧コンクリート(株) ホテルサン人吉 松尾建設(株) まつばせレディースクリニック 御船町 (株)ミヤマラ 湯前町 (福)啓明会 芥山寮
--	--	---	--

サントリービバレッジサービス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)の2社のご協力を頂き、自販機によるご寄付の仕組みを取り入れております。各自販機設置者様のご支援と上記2社のご協力に感謝申し上げます。



2024年度 日本郵便株式会社  
年賀寄付金配分による機器贈呈式

日本郵便年賀寄付金配分事業で助成して頂き、電話システムが新しくなりました。

(右 熊本中央郵便局長 平井様)



第50回丸紅基金  
社会福祉助成金贈呈式

丸紅基金様より丸紅基金社会福祉助成金を頂きました。プリンターの購入に充てられます。

(左 丸紅株式会社副支社長 相田様)



熊本トヨタ自動車(株)様より  
マッチングギフトを頂きました。

(左 熊本トヨタ自動車(株)社長 井原様)



県民共済様より  
ご寄付の贈呈を頂きました。

(左 県民共済広報担当部長 江口様)



一般社団法人夢ネットはちどり様  
よりご寄付頂きました。

(左 夢ネットはちどり代表理事 堤様)

参加費  
無料

# 事前説明会のご案内

私たちの活動や養成講座の内容をご紹介します。

説明会は各回1時間30分で同じ内容です。皆様のご参加お待ちしております。  
※ホームページでも募集の説明動画をご覧ください。



開催日

2025年 3月27日(木) 14:00～ / 4月1日(火) 18:30～ / 4月18日(金) 14:00～

会場

市民会館シアーズホーム夢ホール 会議室(熊本市市民会館)

定員

各回20名

※事前説明会に参加しなくても受講生に応募できます。

申込み・問合わせ先

熊本いのちの電話事務局(平日10:00～17:00) 電話(096)354-4343 FAX(096)354-4665

熊本いのちの電話  
第42期電話相談員

## 養成講座受講生募集!!

「熊本いのちの電話」では、孤独や悲しみ、辛い思いを抱いた方の相談を24時間受けています。  
カウンセリングの基礎や電話対応を学びますので、経験がない方でも大丈夫です。  
あなたのやさしさをボランティアに活かしませんか。深夜の電話当番ができる人歓迎です。



講座時間 毎週火曜日 18時30分～20時30分(2時間)  
会場 熊本YMCA 本館(中央区段山本町4-1)  
費用 前期10,000円、後期12,000円(学割有)

期 間 前期 2025年5月13日～2025年9月 9日(予定)  
後期 2025年9月30日～2026年3月17日(予定)  
年 齢 20歳～70歳以下  
募集期間 2月5日(水)～4月22日(火) 当日消印有効

※詳しい案内をご希望の方には、資料をお送りいたしますので事務局までご連絡ください。



熊本いのちの電話は40才です。2分の1成人式は市民権を得た言葉のようですが、40才はダブル成人式とでもいうのでしょうか?いえ、40才といえば「不惑」ですね。「人間50年」と詠まれた頃からすれば「不惑」の域に達していてもいい年頃なのでしょうが、今や人生100年時代、40才はまだまだ若人ですね。惑いながらも成長真ただ中です。私たちは悩める方たちに寄り添うために、電話相談はもとより、研修や活動の中でも研鑽を欠かしません。これからも熊本いのちの電話は、みなさまと共に成長を続けていきます。今後ともご支援ご理解をよろしくお願いいたします。そして2025年が何事もなく安穏とした年であることを心より願っています。(通信81号の発行は夏を予定しています。)

### 事務局日誌

令和6年7月～12月

7月	4日	チャリティ公演事前打ち合わせ
8月	7日	チャリティ公演事前打ち合わせ
9月	5日	チャリティ公演事前打ち合わせ
	9日	JPお年玉年賀寄付贈呈式
	10日	RKK取材
11月	17日	誓約書改定プロジェクト打合せ
	3日	全体研修会
	3・4日	長崎いのちの電話、合同ブロック会議参加
	13日	共同募金ヒアリング
	26日	丸紅基金贈呈式
12月	11日	連盟・ハラスメント事務局会議参加
	10日	県民共済贈呈式
	17日	熊本市・指導監査
	19日	熊本トヨタ(株)マッチングギフト贈呈式
	21日	インターネット相談九州ブロック講習会
	24日	チャリティ公演



社会福祉法人 熊本いのちの電話  
事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号  
TEL096-354-4343

発行人: 福田 稔 編集: 広報委員会

熊本いのちの電話

検索

※毎月10日 フリーダイヤル(10日8:00～翌日8:00まで)  
※毎日フリーダイヤル(18:00～21:00)  
※毎月第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。